

# 平成30年度事業報告

## ● 基本方針

昨年は、法人の基盤となる第1類正会員（以下、地区協会）はじめ、地区協会本会員との連携を深めつつ法人運営の健全強化に取り組んだ。

国と道が進める「アイヌの人たちの生活向上に関する推進方策」及び公益財団法人アイヌ民族文化財団との連携を保ちながら政策検討や事業実施について働きかけを行った。

また「民族共生象徴空間」の整備については、2020年の開設に向けアイヌ民族の心の拠り所となるよう積極的に働きかけた。

「先住民族の権利に関する国際連合宣言（以下、国連先住民族権利宣言）」を参照し、「アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会（以下、有識者懇談会）」報告書に基づく施策の実現とともに、「アイヌ文化振興法」制定時に残された課題並びに、先住民族アイヌに関する総合的なアイヌ政策を確実に推進していく根拠となる新たな法律の制定（立法措置）について、国民を代表する国会議員への要請活動と国民への周知を実施した。

## < 2つの項目 >

- 1 組織・活動強化の推進
- 2 事業の推進

### 1 組織・活動強化の推進

#### 1 要請活動等の展開

先住民族アイヌに関する総合的な政策を確実に推進していく根拠となる新たな法律の制定（立法措置）に向けて、超党派議員連盟『アイヌ政策を推進する議員の会（代表世話人吉川貴盛衆議院議員）以下、「国会議員連盟』をはじめとした国政や関係行政機関、マスコミなどに対し引き続き働きかけを行った。

「国連先住民族権利宣言」や「人種差別撤廃条約」等についての国内理解が深まるよう、先住民族関連の国際会議などの情報を入手し、我が国における先住民族の認知がより一層定着する活動を継続した。

また、北海道大学アイヌ・先住民研究センターとの協働による啓発・研修活動等を進め、人権啓発活動等に取り組む（公財）人権教育啓発推進センター、反差別国際運動等の情報入手に努めた。

#### (1) 「アイヌ文化振興法」の施策活用

アイヌ文化の伝承・保存活動への取組みを推進するため、各地区協会はもとより、各古式舞踊保存会などで会員一人ひとりがこの施策を有効に活用できるよう、事業の周知と実施方法についての助言、助力を行った。

#### (2) 政府並びに各政党に対する働きかけ

アイヌ民族に関する新たな法律の制定に向けて、国民理解を得ることが重要課題であるこ

とから、あらゆる機会を通じて要請活動を行った。

さらに内閣官房主催地域説明会以降は、施策内容への要望意見提言を行うと共に、法律の素案入手後は、その理念の大意、実効性を見極めながら政治情勢を踏まえ、大所高所から要点を絞り込んだ要請活動に注力した。

- 衆議院議員への要請活動 平成30年7月10日(火)～12日(木)
- 中央要請 平成30年12月20日(木)
- 国会議員への要請活動 平成31年3月1日(東京)
- 〃 平成31年3月6日～8日(東京)
- アイヌ政策を推進する議員の会への要請 平成31年3月8日(金)

①中央陳情等

- ・菅 義偉 内閣官房長官 平成30年7月17日(東京)
- 平成30年11月8日(東京)

②政党等

- ・鈴木宗男 新党大地代表 平成30年4月28日(札幌)
- ・堀井 学 衆議院議員 平成30年8月25日(苫小牧)
- ・吉川貴盛 衆議院議員 平成30年12月1日(札幌)
- 〃 平成31年3月16日(札幌)
- ・松木けんこう 前衆議院議員 平成30年11月5日(札幌)
- ・伊達忠一 参議院議員 平成30年8月25日(札幌)
- ・横山信一 参議院議員 平成30年11月10日(札幌)
- ・徳永エリ 参議院議員 平成30年12月10日(札幌)

③関係省庁への要請

- ・橋本元秀 内閣審議官 平成30年 8月 9日(札幌)

④北海道への要請

- ・阿部副知事との面談 平成30年5月7日(札幌)

(3) 内閣官房主催の地域説明会への参加

内閣官房主催の地域説明会実施に向けて関係地区協会と協力連携し、アイヌに寄り添った政策に結びつくよう意見交換を行った。

- ・平成30年 9月21日(金) 平取
- ・ 〃 9月22日(土) 三石、浦河、様似、えりも
- ・ 〃 9月26日(水) 阿寒
- ・ 〃 9月29日(土) 苫小牧
- ・ 〃 10月11日(木) 白老、登別
- ・ 〃 10月12日(金) 旭川／札幌、江別
- ・ 〃 10月13日(土) 千歳、恵庭
- ・ 〃 10月17日(水) 伊達、壮瞥、洞爺湖、室蘭／函館、八雲、長万部、豊浦
- ・ 〃 10月19日(金) 根室、別海、中標津、標津、羅臼
- ・ 〃 10月20日(土) 網走、美幌、斜里、(紋別)
- ・ 〃 10月21日(日) 帯広、本別、(芽室)
- ・平成31年 1月20日(日) 釧路、釧路町、厚岸、弟子屈、鶴居、白糠
- ・ 〃 1月27日(日) 新ひだか、新冠、日高、むかわ、厚真

(4) 象徴空間整備に関する施策の推進の働きかけ

2020年4月開設となる象徴空間の整備、管理運営については、「有識者懇談会報告書」で提言されているとおり、今後のアイヌ政策は、先住民族であるアイヌの文化の復興に配慮すべ

き強い責任が国にあるという認識に基づき、国が中心となり担うべきであることを強く国に働きかけた。

一方、象徴空間の一体的な運営には、アイヌの主体的参画を確保することが最も重要な観点であるとし、アイヌ政策推進会議、政策推進作業部会などで働きかけた。

また、アイヌ文化は地域差があり、それぞれの文化が尊重されるよう、象徴空間整備・イオル事業などが密接に連携し、他地域とのネットワークが構築されるよう働きかけた。

アイヌ人骨の返還・集約等については、これまでの理事会を経て方針を定め、総会において決議されたところであり、遺骨承継者に返還できる遺骨を除き、速やかに当該施設に集約し、一刻も早く尊厳ある慰霊体制を確立することを求めた。

①アイヌ政策推進会議等への出席

◇アイヌ政策推進会議（第10回）

日時：平成30年5月14日（月）

場所：総理大臣官邸

議事：「政策推進作業部会報告」について  
意見交換

◇アイヌ政策推進会議（第11回）

日時：平成30年12月19日（水）

場所：総理大臣官邸

議事：「新たなアイヌ政策のあり方」について  
意見交換

◇政策推進作業部会

第34回 平成30年4月27日（金）

- ・政策再構築について
- ・国民理解の促進について
- ・政策推進作業部会報告について

(5) 遺骨・慰霊について

①国立アイヌ民族博物館建設工事に係る地鎮祭への協力

（主催者：竹中・田中特定建設工事共同企業体、株式会社日立プラントサービス、末廣屋電気株式会社）

- ・平成30年4月5日 博物館建設敷地内

②北海道博物館におけるイチャルパへの協力（主催者：北海道博物館）

- ・平成30年11月19日 北海道博物館 1階ロビー

③研究のあり方学協会等三者円卓会議（3学協会共同RT）

研究成果の社会還元並びに3学協会協議等の周知を目的にしたシンポジウムを実施した。

また、研究のあり方学協会等三者円卓会議において、人類学や考古学等の研究成果が分かりやすく、一般及びアイヌの方々に伝える概説書の作成について検討した。

○第3回三学協会共同シンポジウム

- ・日時 平成31年1月27日
- ・場所 東京大学

(6) 農林漁業対策の推進

農林漁業対策については、地域の営業実態に応じた生産基盤や近代化施設の整備を進めるため、引き続きアイヌ農林漁業対策事業の積極的な活用を図るとともに、団体会員への制度

理解に努めた。

(7) 住宅対策の推進

住宅の改善を促進するため、継続的な予算措置を求めた。

(8) 先住権、人権に係わる機関・組織等に対する働きかけ

① 法務省の啓発事業「アイヌの人々の人権擁護の観点からの啓発」への協力をするとともに、イランカラブテキャンペーンなどの啓発事業や各種人権啓発資料の活用などにより、人権思想の普及・啓発に努めた。

② アイヌ民族の先住域である千島、樺太、北海道などの歴史的な実証資料や図書資料の収集につとめた。

アイヌ協会活動に関する理解、アイヌ史の正当な位置づけを求めるため、歴史学研究会、日本考古学協会、日本文化人類学会、日本人類学会などの各種学会や北海道大学「アイヌ・先住民研究センター」へ働きかけ、「アイヌ学」や「アイヌ史」の構築に向けて、協力、連携を進めた。

③ 「FSC森林認証制度における管理木材リスク評価」について

「製紙会社が調達する北海道産木材がアイヌの伝統文化継承を阻害するような森林伐採に由来しないか、或いは森林域においてアイヌ文化の振興・発展にどのような支援が必要か」といった観点で王子製紙と日本製紙が実施するヒアリングに道協会・関係地区協会が協力した。

また、FSCジャパンの国内森林管理規格策定に関する先住民族ワーキンググループの検討作業に参画し、第5版規格改定作業に意見を述べ、概ね主張が反映され引き続きの作業が進められることとなった。(平成30年度終了予定)

(9) 伝統的生活空間再生の働きかけ

イオル推進ネットワーク会議に参加し、情報の共有と今後の空間整備のあり方について協議した。

日 時：平成31年3月29日（金）

場 所：かでる2・7

(10) 自主的啓発活動の推進

平時、内外からの照会に応じて啓発活動の推進に努めた。

あわせて広報紙、冊子、チラシ、道の啓発誌、DVDなどをとおして、平時継続的な周知を図った。

(11) ホームページの充実

当法人のホームページをリニューアルし、アイヌ協会の活動方針や各種資料、最新の情報提供に努めた。

また、新規会員募集についての情報提供を行った。

(URL : <http://www.ainu-assn.or.jp>)

(12) 「アイヌ文化交流センター」の運営への協力

全国に向けたアイヌ文化の発信拠点として、東京都に設置されている「アイヌ文化交流センター」との連携を図り、事業運営等に協力した。

- (13) 道外在住アイヌに対する施策実現への働きかけ  
国が主体となった総合的なアイヌ政策を本道に加え全国を対象に推進していく根拠となる法律が制定されるよう国に要請していることから、関東域の関係団体・個人と連絡を密にし、情報共有し、今後の取り組み方について意見交換を行った。  
また、東京オリンピック・パラリンピックにおけるアイヌ文化発信プログラムの企画検討に関東域の関係団体とも連携し、協議を行った。
- (14) 北海道大学アイヌ・先住民研究センターとの事業連携  
同センター実施事業への協力を行うとともに、当協会事業に対するセンター教員等の支援協力を得た。
- (15) 北海道博物館（アイヌ民族文化研究センター）とも連携を密にし、事業の推進に協力した。
- (16) 教科書等のアイヌ民族に関する調査研究  
平成30年3月の高等学校学習指導要領改訂を受け、内閣官房アイヌ総合政策室では教科書出版会社を対象とするセミナーを開催し、昨年に引き続き加藤理事長が冒頭に挨拶し、北大教授等からアイヌ語等の講話を盛り込み理解を働きかけた。  
  
・平成30年10月30日 教科書出版会社13社35名が参加した。
- (17) 教育相談員の配置等  
既存の北海道教育庁、市教育委員会に配置されている教育相談員と協力・連携し、地元の意向に即した支援を行った。
- (18) 図書・刊行物等の過誤対応  
図書、各種出版物や観光資料などの記述に過誤があった場合は、速やかに改善を求めていくとともに、観光バスガイドテキストの有効活用、(公社)北海道観光振興機構に設置された「アイヌ文化部会」など関係機関と連携、協力しながら正確な知識の普及に努めた。
- (19) 「記念事業等のあり方」対応  
北海道命名150年記念事業の実施に向けた「北海道150年実行委員会」に参画し先住民族アイヌの歴史・文化について正しい理解の基に事業が進むよう働きかけた。  
  
・北海道150年ウィークオープニング「カムイノミ」  
平成30年7月14日(土) 道庁赤レンガ庁舎前広場  
祭 司：澤田一憲  
参加者：アイヌ協会役員、地区協会長
- ・北海道150年記念式典  
天皇后両陛下のご臨席の下、北海道150年記念式典が行われ、アイヌ民族の伝統芸能などが披露された。  
日 時：平成30年8月5日(日) 10:30~12:50  
場 所：北海道立総合体育センター「北海きたえーる」  
実施内容：第1部 式典  
口承文芸・トンコリ&ムックリの演奏、  
エムシリムセ/イオマンテリムセ  
松前神楽/江差追分  
イランカラッテ大合唱  
第2部 記念プログラム  
第3部 スペシャルライブ

## 2 組織の強化

### (1) 団体会員等との連携強化

アイヌウタリが一致団結し運動を展開するため、過去の不祥事で生じた協会返還金に当時の役員が結束しその責任を果たすなど、負の経験を省み二度とくり返さぬよう常に心に刻むこととし、各地区協会（団体）や会員（本会員）への情報提供や共有を図りつつ、組織運営に努めた。

各地区協会の総会、役員会等に出向き事務・会計などの相談に応じつつ、地区別懇談会を開催してきた。

また、「会員研修事業」や「アイヌ協会役員研修・連携会議」を有効に活用し、会員の意識の向上と組織連携や強化を図った。

<参加地区、出席役員一覧表>

※各地区協会からの通知、報告もとに掲載

期 日	行 事 名	出席役・職員
平成30年 4月 1日(日)	帯広アイヌ協会総会	
4月 1日(日)	新冠アイヌ協会総会	理事長
4月 3日(火)	標津アイヌ協会総会	
4月 8日(日)	白糠アイヌ協会総会	
4月 8日(日)	千歳アイヌ協会総会	
4月 8日(日)	上士幌アイヌ協会総会	
4月15日(日)	白糠町ウレシパチセ落成式	理事長
4月15日(日)	平取アイヌ協会総会	
4月15日(日)	えりもアイヌ協会総会	
4月15日(日)	むかわアイヌ協会総会	
4月20日(金)	弟子屈アイヌ協会総会	
4月21日(土)	苫小牧アイヌ協会総会	
4月22日(日)	浦河アイヌ協会総会	
4月22日(日)	三石アイヌ協会総会	理事長
4月22日(日)	様似アイヌ協会総会	
4月22日(日)	洞爺湖アイヌ協会総会	
4月25日(水)	釧路アイヌ協会総会	
4月26日(木)	室蘭アイヌ協会総会	
4月27日(金)	阿寒アイヌ協会総会	
4月28日(土)	浦幌アイヌ協会総会	
4月28日(土)	白老アイヌ協会総会	
4月29日(日)	新ひだかアイヌ協会総会	
5月 6日(日)	胆振地区連合アイヌ協会総会	

期	日	行 事 名	出席役・職員
	5月12日(土)	新ひだか 第6回シベチャリ武四郎まつり	
	5月13日(日)	日高地区アイヌ協会連合会総会	
	5月20日(日)	幕別アイヌ協会総会	
	5月20日(日)	札幌アイヌ協会総会	
	5月19日(土)	登別アイヌ協会総会	
	5月21日(月)	伊達アイヌ協会総会	阿部副理事長
	5月30日(水)	様似 イチャルパ	
	6月 3日(日)	新ひだか 第30回イチャルパ	
	6月17日(日)	標津 第10回標津イチャルパ	理事長
	6月23日(土)	平取アイヌ協会青年部第8回ウレク	
	6月24日(日)	苫小牧市美術博物館カムイノミ・イチャルパ	
	6月25日(月)	厚真アイヌ協会総会	
	7月 7日(土)	阿寒 第2回カパチェプ(ヒマヌ)祭	
	7月 7日(土)	長万部 先祖供養祭	理事長
	7月21日(土)	豊浦 カムイノミ・イチャルパ	理事長
	7月21日(土)	江別アイヌ協会総会	
	7月15日(日)	苫小牧 丸木舟川下り	
	7月22日(日)	網走 チパシリアイヌイチャルパ祭	
	7月24日(火)	八雲 第2回カムイノミ・イチャルパ	
	7月30日(月)	恵庭アイヌ協会総会	
	8月 5日(日)	白糠 第40回ふるさと祭	
	8月 5日(日)	むかわ 第24回アイヌ碑カムイノミ	
	8月 5日(日)	帯広 アイヌ共同納骨堂慰霊祭	
	8月11日(土)	白老 第14回白老アイヌ碑慰霊祭	
	8月13日(土)	八雲 アイヌ先駆者鎮魂之碑のお参り	理事長
	8月25日(土)、26日(日)	釧路 第47回コタン祭り	
	8月26日(日)	むかわ 第35回碑前祭	
	8月29日(水)	阿寒 第29回阿寒町納骨堂イチャルパ	
	9月 2日(日)	浦河 平成30年度イチャルパ	阿部副理事長
	9月 2日(日)	千歳 アシリチェプノミ	
	9月 2日(日)	白糠 第23回フンペ祭	

期 日	行 事 名	出席役・職員
9月23日(日)	釧路 第37回カムイチェップ祭	
9月8日(土)、9日(日)	根室 第45回ノッカマップ・イチャルパ	
9月16日(日)	苫小牧 第12回カムイチェップノミ	
9月16日(日)	網走 第16回カムイチェップ祭	
9月18日(火)	新冠 第36回イチャルパ	
9月23日(日)	第72回シャクシャイン法要祭	理事長
9月23日(日)	日高アイヌ協会との懇談	
10月 3日(水)	室蘭 絵鞆先住民慰霊碑祭	
10月 7日(日)	三石 第25回イチャルパ	
10月20日(日)	十勝 第1回十勝川アシリチェップノミ	
10月28日(日)	浦河 パセオンカムイカムイノミ	
11月 4日(日)	白糠 第39回ししゃも祭	
平成31年 1月13日(日)	千歳 アシリパノミ	
1月20日(日)	苫小牧 アシリパカムイノミ	理事長
1月27日(日)	むかわ アシリパカムイノミ	
2月 3日(日)	むかわ 第25回チセコロ・カムイノミ	理事長
2月15日(金)	長万部アイヌ協会総会	理事長
2月17日(日)	第3回苫小牧アイヌ文化祭	
2月17日(日)	平取 第30回シシリムカアイヌ文化祭	
2月17日(日)	八雲アイヌ協会総会	理事長

(2) 立法措置による全国展開のアイヌ施策への具現化

新しい法律制定を目指し、国民理解を深めていただくため、国民を代表する衆参両院議員に要請書を持参しご理解とご協力をお願いした。

(3) 国際文化交流事業の推進

青少年の海外研修事業が平成24年度からアイヌ文化財団の直轄事業として創設されたことから、この事業への協力、会員子弟への参加奨励など、組織強化につながる人材育成事業の取組みを支援した。

(4) 会員研修事業の開催

協会理事会と各関係団体は常に情報を共有し密接な連絡調整を保つことが重要であることから、団体代表者等が一堂に集い、研修・意見交換を行った。

日 程：平成31年3月23日(土)～24日(日)

場 所：TKR札幌ビジネスセンター 5階

参加者：各地区協会代表者 20名

内 容：研修会

報告

- ・「民族共生象徴空間整備の進捗状況について」  
日野 勉氏（内閣官房アイヌ総合政策室北海道分室企画官）
- ・「民族共生象徴空間に向けた地元白老町の取組状況について」  
笠巻周一郎氏（白老町象徴空間整備統括監）
- ・「アイヌ新法案と財団事業の今後について」  
今井太志氏（公益財団法人アイヌ民族文化財団専務理事・事務局長）

協力要請

- ・「シャクシャイン没後350年記念・シャクシャインロード事業について」  
岸上尚生氏（長万部町くらし新幹線課参事）

自由討議、意見交換

#### （5）地区別懇談会の開催

「アイヌ文化振興法」の活用や協会活動などへの理解と参加促進、団体活動の活性化と団体組織の強化を図るため、各団体が抱えている課題や実情に応じた地区別懇談会を開催した。

地 区	日 程	場 所	内 容
白糠 （単独）	平成30年8月23日（木） 18:00-20:00	白糠町 ウレシパチ セ	(1) アイヌ政策推進会議及び作業部会等の進捗や協会取組について (2) 今後の協会取組の展開等について (3) 意見交換
根室 （合同）	平成31年2月10日（日） 14:00-16:00	標津町生涯 学習センタ ーあすばる	(1) アイヌ政策推進会議等の進捗を踏まえて ①国のヒアリングと今後の展開について ②協会の取組について
日高 （合同）	平成31年3月17日（日） 13:30-15:30	東様似 生活館	(2) 意見交換

#### （6）青年女性対策の推進

青年の立場、女性の立場から文化の伝承・保存や組織強化の活性化などについて研修を行った。また、全道から集まった会員との交流を通じて、他地域の現状や取組について情報共有が図られた。

「青年・女性の集い」の実施

- ・日 程：平成31年3月9日（土）～10日（日）
- ・場 所：国立日高青少年自然の家
- ・参加者：各地区協会本会員（家族）、事務局 50人
- ・内 容：アイヌ文化ワークショップ（アイヌ語、アイヌ文化講座）  
東京オリパラに向けたアイヌ文化発信の取組  
地区協会活動の紹介  
自由討議

#### （7）各種相談員の合同研修会などの実施

会員の生活・経済の向上と団体活動の活性化を図るため、生活・職業・教育相談員、さらに経営改善普及指導員による合同研修会や特別研修会を開催した。

#### アイヌ関係各種相談員研修会

- ・日 程：平成30年7月4日(水)～5日(木)
- ・場 所：札幌市(かでの2・7)
- ・参加者：生活相談員、職業相談員、教育相談員、経営改善普及指導員 42人
- ・内 容：実務研修、グループ討議、映像視聴  
講演「相談員のためのアンガーマネジメント講座」  
長縄史子氏(一般社団法人日本アンガーマネジメント協会理事)  
講演「アイヌ民族と人権問題について」原田公久枝氏

#### (8) 連帯意識の高揚

各種貸付金の返還について、各個人の責任において必ず履行されるよう償還義務の確認、連絡徹底に努めた。また、償還が滞っている地区協会と連携し償還督促に努めた。

#### (9) 生活館活動の充実

生活館活動については、各地区独自の活動実施にとどまった。

#### (10) 市町村への働きかけ

アイヌ民族に関する新たな法律の制定を求めるためには、広く道民の理解が必要であることから、道内市町村議会に対して、国への法律制定を求める意見書提出について協力を要請した。(意見書議決状況：平成31年3月31日現在、84市町村)

市町村が行っているアイヌ関連施策の充実、生活格差の是正等、引き続きアイヌ施策や推進体制が充実するよう働きかけた。

○芽室町副町長との打合せ(生活館改修等について協力要請)を行った。

平成30年6月4日 加藤理事長、小川哲也理事、芽室協会長、事務局

#### (11) 財政基盤の強化

会費収入は減少傾向(本会員の減)にあり、賛助会員、寄付金などの自主財源の確保に努めた。

### 3 会務の運営

#### (1) 理事会、アイヌ協会役員研修・連携会議の開催

総会で議決された事項及び会務の執行を適正かつ効果的に推進するため、理事会を年4回程開催した。

<理事会>

回 数	開 催 日	場 所
第 1 回	平成30年 5月 2日(水)	札 幌 市
第 2 回	平成30年 9月 12日(木)	札 幌 市
第 3 回	平成30年10月 26日(金)	札 幌 市
第 4 回	平成30年11月 13日(火)	札 幌 市
第 5 回	平成31年 1月 31日(木)	札 幌 市
臨 時 理 事 会	平成31年 2月 26日(火)	苫 小 牧 市
第 6 回	平成31年 3月 23日(土)	札 幌 市

<役員研修・連携会議>

回数	開催日	場所
第1回	平成30年5月1日(火) 2日(水)	札幌市
第2回	平成30年9月12日(水) 13日(木)	札幌市
第3回	平成30年10月25日(木) 26日(金)	札幌市
第4回	平成30年11月12日(月) 13日(火)	札幌市
第5回	平成31年1月30日(水) 31日(木)	札幌市
臨時役員研修連携会議	平成31年2月25日(月)	白老町
第6回	平成31年3月23日(土) 24日(日)	札幌市

(2) 監事の監査機能の充実など

公益法人移行後の平成30年度の執行部の業務や一般会計、特別会計の適正執行に努め、監事監査とともに公認会計士による監査を実施した。

- ・ 監事会計監査：平成30年12月11日、平成31年4月22日
- ・ 公認会計士監査：平成31年4月22日

2 事業の推進

(1) 社会的地位の向上に関する啓発と施策の推進

先住民族アイヌに関する知識の普及と理解促進のため、一般市民及びアイヌ当事者に対し、国際人権規範や人種、民族等に係る情報収集や対面交流等、適切かつ効果的手法により各種広報・啓発を行った。

① 広報紙「先駆者の集い」の発行

年3回(B5版p.8)各4,500部発行。協会団体会員本会員、賛助会員や行政機関、研究者等に無料配付した。

② ホームページによる情報発信

当協会ホームページを改新し、先住民族アイヌの情報(組織概要、アイヌ史年表、国連活動、民芸品事業者、観光ガイド等)を発信した。

③ 印刷物の発行

アイヌ協会の活動を紹介する「アイヌ民族の概説(B5版)」を作成した。

④ 「2018年 国際先住民族の日記念事業」の開催

「国際先住民族の日」制定趣旨とアイヌ民族の歴史・文化・現状についての啓発事業を実施した。

- ・ 日時：平成30年8月9日(木) 13:30~16:30
- ・ 場所：札幌国際ビル8階 国際ホール

- ・参加者：一般道民及びアイヌ協会員 90人
- ・内容：第1部 アイヌ民族の文化遺産を巡る教育委員会とアイヌ協会の協働の取組  
 講演①「FSCの展開状況－SDGsの達成に貢献するFSC」  
 前澤英士氏（FSCジャパン事務局長）  
 内藤大輔氏（FSCジャパン理事）  
 講演②「PEFCとSGECによる相互認証制度の取組について」  
 中川清郎氏（SGEC/PEFCジャパン理事・事務局長）
- 第2部  
 司会進行・活動説明  
 川上豊幸氏（熱帯林行動ネットワーク運営委員）
- 活動紹介  
 「アイヌ協会から国際森林認証機関等への働きかけ」  
 佐藤幸雄（北海道アイヌ協会事務局長（特定課題担当））
- 意見交換・質疑応答

#### ⑤アイヌ文化発信プログラム事業

2020年に開催される「東京五輪」でアイヌ文化を世界に向けて発信することを目的に道内各保存会及び関東4団体、道内外の文化伝承活動を行っている任意団体から構成する「アイヌ文化発信会議」を開催した。

本年度から演出を担う監督の下にサブリーダーを構成し、舞踊の基礎トレーニングとコーチングについて研修を行った。

また、サブリーダーの活動状況等について、道内・道外地域において説明会を開催した。

#### ○文化発信会議の開催

日 時	場 所	内 容
第1回 平成30年8月30日	かでの2・7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サブリーダーの成果発表（演舞披露）</li> <li>・東京オリパラに向けた文化発信に関する状況の説明</li> <li>・今後の予定等</li> </ul>
第2回 平成31年3月2-3日	白老町公民館	

#### ○サブリーダー会議（練習会）

日 時	場 所	内 容
第1回 平成30年6月24日～ 25日	かでの2・7	アイヌ歌舞の実技指導
第2回 平成30年8月11日～ 13日	屈斜路丸木舟 阿寒湖温泉 緑町生活館	アイヌ歌舞の座学、実技指導、ケガ防止のための準備運動、ストレッチ
第3回 平成30年9月29日～ 30日	釧路市生涯学 習センター まなぼっと	アイヌ歌舞の実技指導

日 時	場 所	内 容
第4回 平成30年10月27日～ 30日	釧路市フィッシャー マンズワーフM00	同上
第5回 平成30年12月15日～ 16日	札幌市民活動 プラザ 星園	同上
第6回 平成31年1月26日～ 27日	かでのる2・7	・アイヌの歌及び舞踊の実技指導  1/26 ・アイヌ政策推進会議 中村裕之座長代理、 アイヌ総合政策室 和泉室長代理練習風景を視察
第7回 平成31年2月9日～ 11日	秋田県わらび 座	・わらび座合同合宿、プロ集団の公演視察、アイヌの 歌及び舞踊の実技研修等
第8回 平成31年3月30日～ 31日	札幌市市民交 流プラザ	・アイヌの歌及び舞踊の実技、コーチング、指導に関 するロールプレイ等

○練習映像の制作

日 時	場 所	内 容
平成30年9月21日	釧路市生涯学 習センター まなぼっと	・アイヌ古式舞踊のためのストレッチの初級編と基本 動作の映像資料制作 ・サブリーダーの個別練習及びサブリーダー会議（練 習会）での準備運動として活用  撮影協力 ・アイヌ詞曲舞踊団モシリ主宰 豊岡征則氏 土井房江氏、豊岡希伊氏、豊岡衣伊氏

○サブリーダーの取組にかかる地域説明会

地 域	日 程	会 場	内 容
札幌会場	平成30年12月14日	かでのる2・7	・今年度及び次年度の取組について ・2020年東京オリパラに向けた文化発信 の今後の進め方 ・情報共有及び意見交換
旭川会場	平成30年12月17日	旭川市生活館	
苫小牧会場	平成31年1月23日	苫小牧市生活館	

地 域	日 程	会 場	内 容
大阪会場	平成31年1月23日	北梅田スタジオ	・アイヌの歌舞の実技指導 他
平取会場	平成31年2月1日	二風谷生活館	・今年度及び次年度の取組について ・2020年東京オリパラに向けた文化発信の今後の進め方 ・情報共有及び意見交換
新冠会場	平成31年2月16日	レ・コード館	
白糠会場	平成31年3月16日	ウレシパチセ	
帯広会場	平成31年3月17日	帯広市生活館	
様似会場	平成31年3月27日	東様似生活館	
阿寒会場	平成31年3月28日	緑町生活館	

○ボーカルチームの養成（ボーカルチーム会議・練習会）

日 時	場 所	内 容
平成31年3月26日	かでの 2・7	・アイヌの歌の座楽、実技指導等

<要請活動>

○管内閣官房長官への要請

要請日:平成30年7月17日(火) 於 東京 組織委員会

要請者:高橋知事、加藤理事長

要請内容:開会式でのアイヌ文化の発信について

(2) 各種貸付金の貸付

福祉（緊急用途支援）、環境整備（浴室、墓碑整備）、入学一時（大学、私立高校、専修学校）を、道内に居住するアイヌの生活向上や生活環境整備の支援のために、用途に応じて各種貸付を行った。

①福祉資金（緊急に生活資金が必要となった者への貸付／無利子・年度内償還）

・貸付限度額10万円以内 36件（3,600,000円）の活用があった。

②環境整備資金（浴室・墓碑整備に要する費用の貸付／無利子・据置き期間は貸付日の属する年度末迄。その期間経過後2年以内の償還）

平成30年度環境整備資金は貸付を見なかった。

○浴室整備資金

・貸付限度額20万円以内 0件

○墓碑整備資金

・貸付限度額30万円以内 0件

③入学一時資金（大学・私立高校・専修学校の入学時に要する費用の貸付／無利子・据置き期間は各資金種別の修業年限以内経過後3年以内）

○大学入学一時資金

・貸付限度額30万円以内 4件（1,186,000円）の貸付を行った。

○私立高校一時資金

・貸付限度額20万円以内 0件

○専修学校一時資金

・貸付限度額30万円以内 2件（600,000円）の貸付を行った。

(3) 職業の確立及び教育の振興に関する施策の推進

道内居住アイヌの就労、就職に係る技能向上や各種免許取得等の所要経費の助成並びに就職相談や求人開拓等に携わるアイヌ雇用推進員設置による指導、アイヌ民工芸品生産者を対象に販路拡大や就業支援、技能向上などの各種支援策を推進した。

①就職奨励事業

○就労や就職に係る支度費用や就職条件のための「就職支度資金」、「自動車等免許取得資金」などの所要資金を助成した。

・就職支度資金23,760円 0件

・技術習得資金50,000円以内 11件（524,300円）の給付を行った。

②アイヌ雇用促進事業

○アイヌの雇用促進に対処するため雇用推進員を設置、就労・就職相談や求人開拓等によりアイヌの雇用と生活安定の促進を図った。

・全道13カ所のハローワークに雇用推進員を配置し、当該業務に従事した。

延べ346日間の活動で438件の相談を受理、96件の就職・求人に結びつけた。

平成30年度活動実績は次のとおり。

項 目		月 別												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1. 活動日数		27	30	30	30	30	30	29	30	29	28	30	30	346
2. 相談 件数	1) 求職者相談件数	46	36	37	30	35	41	35	37	37	34	42	38	448
	有効求職者	33	24	26	22	26	30	25	29	30	25	30	29	329
	新規学卒者	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3
	その他	12	12	11	8	9	11	10	8	7	9	12	7	116
	2) 事業所相談件数	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	4
	一般求人	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	新規学卒者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	3
3. 安定所に取 次いだ件数	求職取次	7	6	6	7	6	7	5	7	6	6	7	8	78
	求人取次	0	0	0	0	0	0	1	2	2	0	0	1	6
4. 職場適応指導件数		4	0	2	1	4	5	0	1	4	1	4	1	27
5. 安定所に取次いだ求人情報のうち求人受理件数 (求人数)		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
6. 就職に至った件数		14	7	7	4	8	7	10	14	5	6	3	11	96

③アイヌ中小企業振興対策事業

○アイヌ民芸品生産者の販路拡大や後継者育成、さらには新製品開発や需要喚起、民芸等の製作技術や文化の普及・理解促進のために行う作品展示、製作実演・体験、販売などによる「民芸品展示・販売会」を開催した。

開催地	場 所	期 間	体験講師／実演者
千歳市	新千歳空港 ターミナルビル 2階	平成30年 10月12日(金) ～ 15日(月)	体験講師 長縄由加利、貝澤竹子 実演展示 藤原スエ子（カイザー） 吉田信男（木ぼりの吉田民芸） 山田祐治（やまだ民芸社） 古式舞踊の公演 様似民族文化保存会 販売者 カイザー、吉田信男、山田祐治、荒木繁
	新千歳空港 ターミナルビル 2階	平成30年 11月9日(金) ～ 12日(月)	体験講師 石井美香、藤原スエ子 実演展示 貝澤竹子 荒木 繁（あらか熊木彫製作所） 吉田信男（木ぼりの吉田民芸） 古式舞踊の公演 千歳アイヌ文化伝承保存会 販売者 貝澤竹子、荒木繁、吉田信男、山田祐治
	新千歳空港 ターミナルビル 2階	平成31年 2月15日(金) ～ 18日(月)	体験講師 長縄由加利、石井美香 実演展示 貝澤竹子 荒木繁（あらか木彫熊製作所） 山田祐治（やまだ民芸社） 古式舞踊の公演 白老民族芸能保存会 販売者 貝澤竹子、荒木繁、山田祐治、吉田信男
東京都	THE COVER NIPPON TOKYO	平成30年 11月 1日(木) ～ 30日(金)	体験講師（11/16-17） 間宮喜代子 実演展示（11/23-24） 吉田信男（木ぼりの吉田民芸）

○博物館の民族資料の熟覧・講習受講等による知識・技能等の向上、先進地視察や国立民族学博物館の外来研究、技術指導受講などによる研鑽、調査研究及び経営研修などを進める「工芸者技術研修」を行った。

#### <道外研修>

国立民族学博物館に外来研究員としての受け入れを依頼し、アイヌ工芸者の技術向上とアイデアの開発、さらにはアイヌ工芸品の振興発展を目的に研修を行った。

- ・研修期間：平成30年12月5日～12月20日（16日間）
- ・参加者：小美浪フミ（白老）／竹内明美（札幌）
- ・報告会：研修終了後、研修報告会を実施した。

#### <道内研修>

アイヌ工芸者の技術向上と経営手法を習得するため、熟練工芸作家による技術指導と経営や販売促進に関する研修を実施した。

- ・研修期間：平成30年12月～平成31年3月
- ・講師：①技術指導 優秀工芸師 宮田初枝  
②経営セミナー 中小企業診断士 佐々木伸
- ・参加者：佐々木優子（帯広）／山本明美（帯広）／吉村真美子（札幌）  
安東春江（幕別）
- ・報告会：研修終了後、研修報告会を実施した。

#### ④「アイヌプロダクツ（アイヌ協会活動促進費）」事業

アイヌ文様を用いた新たな商品開発を推進するため、一般企業等からの商品問い合わせに対応するパンフレットを制作した。

(4) 民族文化の保存・伝承及び発展に関する施策の推進

①アイヌ伝統工芸展開催事業

- ・期 間 平成31年2月9日(土)～13日(水)
- ・場 所 かでる2・7 1階展示ホール
- ・参加地区数 12地区協会(30人)
- ・出品数及び 伝統工芸品部門 41点 一般工芸品部門 24点 計65点
- ・審査委員 前道立近代美術館学芸部長 浅川 泰  
 北海道立総合研究機構ものづくり支援センター研究主幹 日高 青志  
 (敬称略) 北海道大学アイヌ先住民研究センター准教授 山崎 幸治  
 北海道テキスタイル協会代表 戸坂 恵美子  
 北海道アイヌ協会優秀工芸師 西田 香代子  
 北海道アイヌ協会優秀工芸師 貝澤 徹
- ・受賞者一覧

	伝 統 工 芸 品 部 門			一 般 工 芸 品 部 門		
	作品名	地区名	氏 名	作品名	地区名	氏 名
最優秀賞 (※1)	アットウシ (樹皮衣)	平 取	川上ききょう	街行きサラニブ	平 取	貝沢 寛子
優秀賞 (※2)				ポシェット	札 幌	長縄由加利
優秀賞 (※3)	ルウンペ (木綿衣)	釧 路	桃井 芳子			
優秀賞 (※4)	トゥムシ パスイ	札 幌	吉村 政彦	タペストリー	札 幌	阿部 紘美
奨励賞	カパラミブ (木綿衣)	札 幌	太田 栄子	コロポックル	白 老	山田 祐治
同	ルウンペ (木綿衣)	白 老	吉国 幸子	タペストリー	札 幌	荒木ハル子
同	着物	幕 別	山下まり子	タペストリー	札 幌	小川カヨ子
同	アットウシ織り (反物)	札 幌	長縄由加利	チンデリの ファブリックハ <sup>®</sup> 裃	標 津	西山美紀子
同	花ゴザ	札 幌	竹内 明美	エムシアッ マタンブシ	江 別	小笠原小糸
同	ゴザ	帯 広	吉根とみ子			

※1 最優秀賞 (北海道知事)

※2 優秀賞 (北海道議会議長)

※3 優秀賞 (北海道教育委員会教育長)

※4 優秀賞 (かでる賞)

②アイヌ民俗文化財伝承・活用事業（道教委委託事業）

○アイヌ民俗文化財理解のための用語や伝統技術の習得、民俗芸能の伝承等の講座を開設し一般市民及びアイヌ同胞への伝承普及等を図った。

- ・アイヌ民俗技術伝承講座 5会場（白老/むかわ/浦河/帯広/釧路）
- ・アイヌ民俗芸能伝承講座 5会場（苫小牧/白老/むかわ/浦河/釧路）
- ・アイヌ民俗文化財総合伝承講座 1回（札幌）
- ・アイヌ民俗技術・芸能伝承講座発表・展示 1回（白老）

③松浦武四郎北海道命名150年記念・アイヌ民族文化祭2018

国際先住民の10年の周知・啓発と民族文化の伝承と発展を図るため、「アイヌ民族文化祭2018」を開催した。

◆開催日時：平成30年10月20日（土）13:00～16:00  
21日（日）9:20～14:30

◆開催場所：標津町生涯学習センター「あすばる」

◆入場者数：330人

◆内 容：＜第1日目＞ 13:00～16:00

来賓挨拶 参議院議員 竹谷とし子  
北海道議会議員 中司哲雄  
内閣官房アイヌ総合政策室長 橋本元秀  
北海道環境生活部アイヌ政策監 長橋 聡  
標津町長 金澤 瑛

文化公演Ⅰ アイヌ古式舞踊

- ・阿寒アイヌ民族文化保存会
- ・白糠アイヌ文化保存会

文化公演Ⅱ 紙芝居 武四郎物語

- ・紙芝居師 三橋とら

文化公演Ⅲ 講演 松浦武四郎関連企画

- ・講師 小野哲也（標津町教育委員会文化財担当主幹）

フィナーレ ポロリムセ（輪踊り）

＜第2日目＞ 9:20～14:30

「武四郎の足跡を辿る “なりきり巡検ツアー”」

（5）諸民族との交流及び情報交換

①国内文化交流事業

○北海道大学及び札幌医科大学イチャルパ（供養祭）など、古式に則る先祖供養の実施により伝統文化の体験交流と技能習得による保存活動を実施し、併せて人類学等の研究者、大学関係者との遺骨返還方法等の協議や研究成果の社会還元、相互理解等を図った。

「北大イチャルパ文化交流の集い」－北海道大学アイヌ納骨堂におけるイチャルパー

- ・日 程：平成30年8月3日（金）11:00～14:30
- ・場 所：北海道大学医学部敷地内「アイヌ納骨堂」
- ・参加者：130人

「札幌医大イチャルパ文化体験交流の集い」－札幌医科大学におけるイチャルパー

- ・日 程：平成30年10月3日（水）
- ・場 所：札幌医科大学構内
- ・参加者：70人

○文化理解の促進と伝承活動の活性化を図るため、アイヌ古式舞踊の保存団体を招聘した「芸能交流会」を開催し、各地に伝わる舞踊や歌、楽器演奏等を一般市民やアイヌ同胞に紹介した。

「芸能交流会」

- ・日 程：平成30年9月23日（土・祝）
- ・場 所：真歌公園広場（新ひだか町静内真歌）
- ・集客、参加人数：300人（11団体）

○後継者の育成とアイヌ文化等の理解促進を図るため、「優秀工芸師」による「優秀工芸師秀作展示交流会」を開催し秀逸な作品の展示、技術指導を行った。

- ・日 程：平成31年2月9日（土）～12日（火）
- ・場 所：かでの2・7 1階展示ホール
- ・実演者：優秀工芸師 8人

(6) 道立アイヌ総合センターの管理

北海道条例に基づき指定管理者として道立アイヌ総合センターの指定管理業務を行った。

- ・保守管理業務→設備、備品、資料の保守管理
- ・施設利用に関する業務→利用受付、案内
- ・情報提供に関する業務→資料収集・保管、資料展示室の案内・開設、情報提供
- ・学習事業に関する業務→講習会等の開催、資料提供
- ・管理事業に関する業務→パンフレットの配布、アイヌ文化伝承保存のための普及啓発
- ・利用承認に関する業務→申込書の收受、承認書の交付
- ・災害、事故時対応 →利用者の安全確保、関係機関への連絡通報、応急処置等
- ・各種報告等 →事業報告等
- ・その他 →関係団体との調整等

○一般市民に対しアイヌ民族への理解を深めるため、常設展示や関係図書、史・資料の利活用の促進を図った。施設空間の活用などによりアイヌ文化の体験学習や講習会を実施、伝承と保存活動を推進した。

平成30年度アイヌ総合センター学習事業実績

講習名	日程	講師名	延べ人数
アイヌ刺しゅう講習会(勉強会1)	5月17日、31日 6月14日、29日	宮田初枝	56人 (14人×4回)
アイヌ刺しゅう講習会(初級1)	5月21日、28日 6月4日、11日	宮田初枝	80人 (20人×4回)
アイヌ刺しゅう講習会(中級1)	7月2日、9日 7月23日、30日、 8月6日	宮田初枝	70人 (14人×5回)
アイヌ刺しゅう講習会(勉強会2)	8月9日、30日 9月13日、27日	宮田初枝	56人 (14人×4回)
アイヌ刺しゅう講習会(初級2)	9月1日、15日 9月29日、 10月13日	宮田初枝	56人 (14人×4回)
アイヌ刺しゅう講習会(中級2)	10月1日、15日 22日、29日 11月12日	宮田初枝	70人 (14人×5回)
アイヌ刺しゅう講習会(勉強会3)	10月18日 11月1日、15日 11月29日	宮田初枝	64人 (16人×4回)
合計			452人

○自主事業等の実施

(自主企画事業)

- ・アイヌ民芸品(北海道アイヌ伝統工芸展受賞作品)をアイヌ総合センター内に展示し、優秀作品の鑑賞機会の提供と伝承技術の奨励を促進した。

(広報活動等)

- ・アイヌ協会ホームページ、講習会周知、かでの広報への施設案内・行事の周知を行った。

(7) 人種、民族に関する調査研究及び提言

先住民族アイヌに関する文化的伝統や慣習、歴史、言語、文化遺産、文化的表現を保持、管理、保護し、発展させるため、必要な情報収集に努めた。

①アイヌ民俗文化財調査事業 道教委委託事業

○故金成マツ筆録、ユカラ翻訳整理及び伝統的な生産業、民俗技術、口承文芸などの調査を行った。

- ・萱野茂二風谷アイヌ資料館保管の金成マツノート中、3話の翻訳整理と原稿化。  
表記法等:(筆録原文音素表記・アイヌ語カナ表記・邦逐語訳/対訳)3編。
- ・民俗技術の調査